

タイトル『いちねんかん』

著者：畠中 恵

出版社：新潮社

江戸の通町にある、廻船問屋兼薬種屋「長崎屋」の若旦那「一太郎」は体がとても弱く、しょっちゅう寝こみ死にかける。そんな若旦那が、父「藤兵衛」に代わり、1年間、店主の役割をこなすことになった。「慣れない仕事」「丈夫にならない体」「大番頭と手代の言い合い」……。若旦那は妖達と協力し、無事1年をこせるのか？

「やっぱり、私じゃ駄目なんだろうか」

つい、若旦那を応援したくなる！



不安をのりこえた成長の1冊



ぜひ、読んでください！！

投稿日

年

月

日

ペンネーム(本名は書かないでね！)

おひなちゃん

年齢

14

仙台市 泉 図書館 YAコーナー